

平成29年1月25日

報道発表資料

河内長野市

南海電気鉄道株式会社と連携して「地産地消」を推進

河内長野市産品を取り入れたメニューが展開されます

河内長野市（市長：島田智明）は、平成23年5月に南海電気鉄道株式会社と、まちづくり、教育・子育て支援、定住・転入の促進、観光振興という4つの分野で基本協定を結び、様々な連携を展開しているところです。

このたび、南海電気鉄道グループ内の飲食店にて、河内長野市が農家とともに栽培に取り組んでいる「難波ねぎ」と、河内長野市が農商連携を支援した「奥河内こんにゃく」がメニューに取り入れられることになりました。

2/1より期間限定で販売を開始されます。

①河内長野産難波ねぎを取り入れた
「鶏なんばそば」



②河内長野産のこんにゃく芋を使った
「奥河内生芋こんにゃく（おでん）」



試食会日時：平成29年1月30日（月）15時00分～（報道機関向け）
場 所：南海そば難波2F店（南海電鉄難波駅構内）

【資料提供先】※南海電鉄グループからも本日、同内容のリリースが配信されます。

河南記者クラブ

本件に関するお問合せは

河内長野市 農林課 TEL 0721-53-1111
産業観光課 TEL 同上